

マゴチの成長

■マゴチの成長

前回の調査に続き、今回の調査でも多くのマゴチの稚魚 (Fig.1~4) を採集した。全長はTable.1の通りである。平均の全長はおよそ1.4倍となっており、体積はおよそ2.7倍となる。重量も2.7倍と考えられ、1ヶ月で2倍以上の成長である。その成長を維持するだけの餌が蒲生干潟には存在することになる。次回の調査でもマゴチの成長に目を向けていきたい。

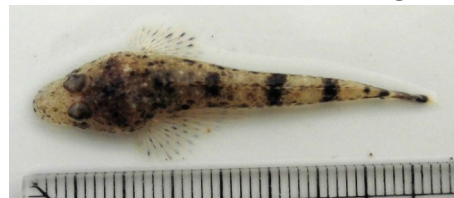
なお、今回の調査ではガザミの稚ガニは採集することができなかった。比較的波が高かったため、手網では採集できない深い場所へ移動していた可能性が考えられる。



(Fig.1 マゴチ)



(Fig.2 最大の個体 全長7.5cm)



(Fig.3 最小の個体 全長4.5cm)



(Fig.4 平均的な個体 全長6.0cm)

全長(cm)	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	平均
採集数 (8月8日)	1	4	0	1	1	1	5	5	1				4.3cm
採集数 (9月4日)						1	1	4	2	3	1	1	6.0cm

(Table.1 マゴチの全長と採集個体数)